

平成27年度
裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン
政策別・施策別集計表
(主要事業)

平成27年度 裾野市まち・ひと・しごと創生総合アクションプラン(主要事業)

| 1 「住みたいまち裾野」のまちづくり | | | 19件 | | | |
|-----------------------------|--|---------------------|---------------|---|--|--------------------|
| 事業No. | 事業(事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ(アウトプット) | アウトプット(KPI)指標 |
| 1 裾野市らしいデザインのまち すその | | | | | | |
| ① 地区の強みを活かした地域づくりの推進 | | | | | | |
| 1 総合計画や各種基幹計画の着実な推進 | | | | | | |
| 1 | 裾野市総合計画等策定事業・国土利用計画改定事業(内陸フロンティア) 第4次裾野市総合計画後期基本計画策定及び第3次国土利用計画裾野市計画の改定する。 | 企画政策課 | 6,200 | ・H27年10月:総合戦略策定 ・H28年2月:まちづくりデザイン報告会 ・裾野市職住近接の防災・エコタウン創出モデル事業実施 | 計画の策定・進捗管理 ・裾野市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定 ・総合計画実施計画策定 ・裾野市まち・ひと・しごと創生会議開催:5回 | |
| 2 | 裾野市都市計画マスタープラン策定事業 長期的な都市づくりの方針を新たに定めるため、区域区分や用途地域の見直しも視野に入れ、計画を策定する。 | まちづくり課 | 7,452 | ・市民委員を対象に会議を開催 ・市民を対象にパブリックコメントを実施 | 計画の策定・進捗管理 市民委員会の開催:3回 パブコメ意見数:18件 | |
| 3 | 裾野市環境基本計画策定事業 裾野市のより良い環境を維持するため、今後の社会動向も踏まえて、市の環境行政の基幹となる基本計画を策定する。(策定期間:H26~27) | 生活環境課 | 5,490 | 環境に対する社会情勢をふまえ、「富士山のすその水・緑・人を共に育てるまち」を望ましい環境像とする計画を策定 | 審議会:3回 市民会議:7回 策定委員会:2回 | |
| 2 職と住の均衡ある地域づくり | | | | | | |
| 4 | 職住近接の促進・通勤環境の改善による就業環境の整備 通勤環境の改善による定住促進に向け、快適な通勤環境創出に向けた施策立案の基礎資料を作成するため、市内からの東京圏や静岡市周辺への通勤環境について調査する。 | 先行型(上乗せ交付) 企画政策課 | 【補正】 3,000 | ・職と住をつなぐ手段の調査研究事業実施 | ・三島駅利用者アンケート ・東京圏勤務者WEBアンケート ・市内企業ヒアリング ・市内従業者アンケート ・親世代アンケート | ■ニーズ等把握件数(H27):50件 |

| 事業 No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|-----------------------------------|--|-------------------------|--------|---|---|-----------------------|
| 2 住みたくなるまち すその | | | | | | |
| ① 住みたくなる宅地の創出、出歩きたくなる地域の形成 | | | | | | |
| 1 住みたくなる優良宅地の創出 | | | | | | |
| 5 | 宅地分譲促進事業 市街化区域内の未利用地の優良宅地化を促進するため、基準を満たした宅地分譲事業に対して助成する。 | まちづくり課 | 10,000 | 開発事業者に対する補助 | 宅地供給件数 総区画数 40区画 補助区画数 36区画 | |
| 2 環境と調和する住宅建築の促進 | | | | | | |
| 6 | 新エネルギー機器等(防災・減災対応型)導入補助事業 地球温暖化防止対策や環境への負荷が少なく、災害時には非常用電源としても利用可能な新エネルギー機器の購入費用に対して助成する。 | 生活環境課 | 20,550 | 太陽光発電システム、蓄電池システム、燃料電池システム等新エネルギー機器導入に補助 | 太陽光(住宅用);111件 太陽熱;15件 蓄電池;23件 エネファーム;11件 HEMS;28件 V2H;2件 セット;8件 | |
| 7 | 住宅建設等促進事業 定住人口の増加及び地域経済の振興を図ることを目的として、住宅の新築等に対して助成する。 | 商工観光課 | 25,000 | 裾野市商工会の実施する住宅の新築建替、リフォームに対し、補助を行った。 | 新築(28件)・リフォーム件数(15件)、年度末未完成のためH28へ明許繰越 | |
| 3 出歩きたくなるまちづくりの推進 | | | | | | |
| 8 | 東西地区(市街化区域)道路整備計画に基づく道路整備事業 東西地区内の市街化の促進、緊急車両の通行路確保等を図るため、道路整備計画に基づく道路整備を行う。 | 建設課 | 30,000 | 1路線で工事実施 2路線で測量委託実施 | 道路整備延長 L=37m | |
| 9 | ウォーキング利用を促進するソフト面の取組み 出歩きたくなるまちづくりに向け、ウォーキングマップの整理やイベントの展開、看板の設置などを今後検討。 | 健康推進課 商工観光課 建設管理課 | - | ・毎週火曜日に「寄り道ウォーキング」を34回開催 ・市内5地区でウォーキング大会を開催(1回/地区) | ・寄り道ウォーキング参加者数:1,040人 ・地区別ウォーキング大会参加者数:430人 ・イベントの実施やマーキングの施工:担当課長会議で検討 | |

| 事業 No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|-------------------------------------|--|---------------|---------|--|--|-----------------------|
| ② まちの骨格をなす幹線道路の整備 | | | | | | |
| 1 幹線道路・生活道路の整備推進 | | | | | | |
| 10 | (仮称)神山深良線整備事業 朝夕の渋滞解消のため、深良地先の市道1-4号線(農免道路)と御殿場市神山地先の道路を整備し、交通の円滑化を図る。 | 建設管理課 | 35,000 | 路線測量・用地測量 道路予備設計・橋梁予備設計 地質調査の業務委託 | 路線測量・用地測量 道路予備設計・橋梁予備設計 地質調査の業務委託実施中 | |
| 11 | 市道1-26号線整備事業 都市計画街路平松深良線整備に伴う通過車両の生活道路への流入を防ぐため、平松深良線(公文名工区)の終点部と市道1-4号線(農免道路)間を整備する。 | 建設課 まちづくり課 | 76,100 | 道路用地の取得 | 事業実施 | |
| 12 | 都市計画街路平松深良線整備事業 市内の幹線道路を整備するため、平松深良線のうち市民体育館前通りから千福公文名線、佐野茶畑線から駅東通り間を整備する。 | まちづくり課 建設課 | 231,126 | ・道路用地の取得 ・計画に基づき工事を実施。 | L=180mの整備を実施。(工事) | |
| 2 道路施設の長寿命化 | | | | | | |
| 13 | 橋梁長寿命化に基づく点検及び計画再策定事業 道路橋の効率的な維持及び修繕を図れるように、5年に1回の定期点検を実施する。 | 建設管理課 | - | 道路橋定期点検の実施 | 委託点検35橋(JR跨線橋を含む)市単 点検62橋 | |
| 14 | 橋梁維持事業(長寿命化修繕) 道路橋の定期点検結果により、修繕の必要があると診断された橋梁において、安全性の向上及び橋梁の延命を目的として、適正な時期に設計委託及び修繕工事を実施する。 | 建設管理課 | 23,500 | 設計業務の実施 長寿命化補修工事の実施 | 呼子大橋外5橋 新入田川橋外7橋 | |
| ③ 市民・企業・行政が一体となった防災・減災の備えの構築 | | | | | | |
| 1 防災体制の整備推進 | | | | | | |
| 15 | 防災体制整備事業 第4次被害想定に伴い防災計画を見直し、地震津波対策交付金を活用して防災訓練を実施するとともに、避難所や救護所用防災資機材の充実を図る。 | 危機管理課 | 80,544 | 総合防災訓練、医療救護訓練及び地域防災訓練に合わせて裾野市対策本部運営図上訓練の実施 | 訓練の実施 | |

| 事業 No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|--------------------------------|--|--------|--------|---|-------------------------------|-----------------------|
| 3 緊急輸送路及び避難路の防災対策の推進 | | | | | | |
| 16 | 橋梁維持事業(耐震補強) 安全・供給・修復性の強化をはかるため、緊急輸送路及び避難路上の道路橋の耐震補強設計及び工事を実施していく。 | 建設管理課 | 22,000 | 設計業務の実施 耐震補強工事の実施 | 野添橋外1橋 野添橋 | |
| 3 文化資源を創生するまち すその | | | | | | |
| ① 裾野市を象徴する地域資源の保存・活用の推進 | | | | | | |
| 1 文化・観光資源の適切な保存・活用 | | | | | | |
| 17 | 観光施設等維持管理事業 公園等の案内看板の整備等の施設改修を行う。 | 商工観光課 | - | 景ヶ島公衆用トイレの取壊並びに復元整備の準備、偕楽園芝生広場の取得 | 維持管理事業の実施 | |
| 18 | 文化財管理事業 指定文化財を管理及び新規指定についての調査・研究の実施 | 生涯学習課 | - | 指定文化財を管理し、又は所有者による管理を支援した。 新たな指定について調査・検討を行った。 | 文化財の指定件数 国2、県3、市13 | |
| 19 | 市内公園等の維持管理事業 都市公園等の維持管理に係る業務を委託する。 | まちづくり課 | - | 公園の管理委託、施設保守点検及び大腸菌検査、枝打ち、砂場清掃、公園内設備の維持修繕 | 維持管理事業の実施： 管理委託11件、維持修繕17件 | |

2 すべての起点となるひとづくり

34 件

| 事業 No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|-----------------------------|---|-------|---------------|--|---------------------------------------|-------------------------|
| 1 人と人の関係を豊かにするまち すその | | | | | | |
| ① ひとづくり、地域活動支援の推進 | | | | | | |
| 1 市民活動団体による地域活動の支援 | | | | | | |
| 20 | 市民活動センター運営事業 NPOやボランティア等による市民協働の推進と地域振興を図るため、市民活動センター設置・運営する。 | 生涯学習課 | 4,480 | NPO・自治会・個人・行政を対象に市民活動に関連した相談を実施。また、市民活動支援に関連した講座等を市民などを対象として実施。 | 市民活動の相談件数233件(4~1月)、事業の実施件数36件(4月~1月) | |
| 21 | 市民協働推進事業 市民協働を推進するため、市民提案事業と市民パートナー募集事業他の市民協働事業を行う。 | 生涯学習課 | 2,700 | 公益的な事業を提案する団体の企画を審査し助成する。 | 事業実施件数 8事業 | |
| 22 | きれいなまちづくり推進事業 協働による「きれいなまちづくり推進事業(環境美化活動)」を推進する。 | 生涯学習課 | 1,190 | 市が管理する施設・場所で美化活動する団体へ助成する。 | 事業実施団体数10団体 | |
| ② 市内外で裾野ファンを広めることの推進 | | | | | | |
| 1 裾野市のあるもの磨きの推進 | | | | | | |
| 23 | 「眠れる資源・隠れた魅力」発掘発信事業 先行型(基礎交付) 裾野市の眠れる資源や隠れた魅力を発掘し、(仮称)「厳選・裾野の魅力」を演出することで市民の郷土愛を醸成し、その上で、資源や魅力に更なる磨きを掛け、映像配信によるシティプロモーション戦略を展開し、交流人口の増加を図る。 | 戦略広報課 | 【繰越】 2,500 | 裾野の魅力Sen!を市民から募集し、約1000件の魅力の応募があった。これを基に、首都圏の女子大生と地元のおやじによる「裾野の魅力パネルディスカッション」を行い、情報発信の方法を検討した。PR動画を作成し、動画投稿サイトへ投稿。魅力紹介サイトを策定。 ※2月末現在(見込み) | ・応募総数:989件 ・2月末現在、PR動画・サイト作成中 | ■裾野の魅力サイトへのアクセス数:100件/日 |
| 24 | 児童・生徒によるあるもの磨き事業 先行型(上乘せ交付) 小学生・中学生が、裾野の地域資源や暮らし環境について、専門家や行政の説明を踏まえ、市内各地に赴き、意見をまとめ、発表する。 | 企画政策課 | 【補正】 1,300 | ・会議開催:5回 ・探検箇所数:13箇所 | H27参加者:12名(少中各6人) | ■児童生徒参加者数:45人 |

| 事業No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|--------------------------------|---|-------------------------------|---------------|---|---|------------------------------|
| 2 シティプロモーションの推進 | | | | | | |
| 25 | 観光情報発信事業 観光案内所の機能を充実し、新たな観光事業の創出や戦略的な情報発信により、裾野市の観光振興と交流人口の増加を図る。 | 先行型(基礎交付) 商工観光課 | 【繰越】 3,500 | ・Facebook開設 ・英語・中国語の観光パンフレット作成 ・口コミサイト・旅行雑誌への掲載 等 | ・HPアクセス件数(4/1～): 4,284,303件 ・パンフレット作成部数: 英語: 6,000部・中国語: 4,000部 | ■観光協会サイト・SNSへのアクセス件数: 100件/日 |
| 26 | シティプロモーション推進事業 市の魅力を創出し、ブランド力や認知度のアップを図るため、県内外へ戦略的な情報発信を行う。市マスコットキャラクター“すそのん”の活用やフィルムコミッションなどの充実を図る。 | 戦略広報課 | 6,482 | 裾野市の認知度をアップさせるため、ゆるキャラGPへの参加など、すそのんを活用したPR活動を行った。また、映画やドラマのロケを積極的に誘致した。 | フィルムコミッションのロケ成立件数 18件 ※2月末日現在 | |
| 27 | 定住促進・移住定住に資する情報発信コンテンツの整理 ①移住者対策: 裾野の暮らし環境を伝えること ②生活者対策(借家住まいの方の定住対策): 裾野の住みやすさや住んでできるコトを伝えること ③就職期の若者対策: 地域産業の情報やライフスタイルの提案 等の情報発信内容(コンテンツ)の整理及び調査研究を実施する。 | 先行型(上乘せ交付) 戦略広報課・企画政策課(PT) | 【補正】 3,000 | ・キラリと光る裾野ならではのライフスタイルプレゼン事業実施 | ・移住セミナー参加: 2件 ・定住、移住者インタビュー: 6件 ※2月末日現在 | ■新たな情報発信手法の提案(H27): 3件 |
| 2 みんなで子育てするまち すその | | | | | | |
| ① 出会いの場の創出や結婚環境の整備 | | | | | | |
| 1 出会い・結婚期の支援の充実 | | | | | | |
| 28 | 婚活相談及びイベント事業 結婚を望む男女に対し、結婚相手の照会及び相談に応じるとともに、恋活イベントを開催する。 | 生涯学習課 | 800 | 独身男女を対象に、自分も相手大切にすコミュニケーション方法=アサーティブを学ぶ講座 | 事業参加者数 結婚相談: 男性31人 女性9人 イベント: 男性26人 女性18人 | |
| 29 | 婚活コミュニケーション能力向上セミナー 結婚に向けた実践的なスキル等を提供するコミュニケーション力向上講座等を開催する。 | 少子化対策強化 生涯学習課 | 450 | 独身男女を対象に、月に1回の結婚相談と年に2回の婚活イベントを実施 | 講座受講者数: 男性16人・女性14人 合計30人 | |
| ② 妊娠・出産育児の切れ目ない相談・支援の充実 | | | | | | |
| 1 妊娠・出産期支援の充実 | | | | | | |
| 30 | パパママスクール事業 妊娠・出産・育児に関する不安を解消するため、初妊婦とその夫、家族を対象とした講座を開催する。 | 健康推進課 | 82 | 初妊婦とその家族を対象に15回開催 | 事業参加者数: 225人 | |

| 事業No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|-----------------------------|---|--------------------------|---------------|--|--|--------------------------|
| 2 子育て期(乳幼児期)支援の充実 | | | | | | |
| 31 | 乳幼児医療費助成事業 保護者の負担軽減を図り乳幼児の健やかな成長に寄与するため医療費を助成する。 | 子育て支援課 | 124,960 | 未就学児に対する医療費助成(医療費と入院時の食事代)を実施。 | 補助件数: 64,000件 | |
| 32 | 裾野市私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金 私立幼稚園の保護者の経済的負担を軽減するため授業料・施設設備費補助を行う。 | 子ども保育課 | 17,617 | 規程に基づき補助金を交付した。 | 補助件数 291件 | |
| 33 | 裾野市認証保育施設支援事業 先行型(基礎交付) 安心して働き、子育てできる環境整備を図り、以て子育て世代の定住人口増加に資するため、認可施設(保育園・幼稚園)以外に、一定の基準を満たす子育て支援施設への運営費等を助成する。 | 子ども保育課 | 【繰越】 4,800 | 既存の2事業所を認証し運営費を助成した。また、事業所の新設を促進した。 | 28年度の保育所受入枠17名増加 | ■待機児童 ゼロの継続 |
| 34 | 公共施設授乳室等整備事業 先行型(基礎交付) 市内公共施設に、授乳施設やおむつ替えスペースを整備することで、子育てをまち全体でサポートする意識を浸透させ、子連れ家庭が賑わう、安心して子育てできる環境整備に取り組む。 | 子ども保育課 生涯学習課 鈴木図書館 | 【繰越】 1,830 | ・鈴木図書館の授乳室設置(6月) | ■ファーストブック参加率: 80% H28.2現在: 78.7% (対象者: 483名・参加者: 380名) | ■ファーストブック参加 率: 80% |
| 35 | 運動公園スポーツイベント活性化事業 先行型(基礎交付) 富士山の眺望に優れた運動公園に授乳室やおむつ替えスペースを整備することで、子育て世代の施設の利便性を向上するとともに、新規のスポーツイベントを誘致することで、交流人口の増加を図る。 | 生涯学習課 | 【繰越】 2,170 | 運動公園の管理棟の中央に授乳室・おむつ替え室を設置し利便性向上させた(6月) | H26.7~H27.2: 77,401人 H27.7~H28.2: 77,126人 (11/2~運動公園工事中) | ■施設年間 利用者数: 15 千人増 |
| 3 子育て期(学童期~思春期)支援の充実 | | | | | | |
| 36 | こども医療費助成事業 保護者の負担軽減を図り小中学生の健やかな成長に寄与するため医療費を助成する。 | 子育て支援課 | 120,337 | 小中学生に対する医療費助成(医療費と入院時の食事代)を実施。 | 補助件数: 52,000件 | |
| 37 | 放課後児童室時間延長調査研究事業 少子化対策強化 開設時間を試行的に延長し、教室毎の利用実態、地域別の特性・ニーズについても調査を行い、地域特性を踏まえ、地域ごとに最適な実施方法を検証する。(9小学校10教室) | 子ども保育課 | 【補正】 6,652 | 開室時間を1時間延長し、利用の動向を調査した。 | 調査の実施 利用者延4,300人 | |

| 事業No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|---------------------------------|--|--------|---------------|--|---|-----------------|
| 38 | みらいのパパママスクール事業 中学生を対象に、将来「親」となることの大切さを伝えるため、妊娠・出産・育児について学ぶ機会を創出する。 | 子育て支援課 | 251 | 各中学校(3年生対象)において映画「うまれる」を上映し、親になることの大切さなどについて啓発を行った。 | 事業参加者数:540人 | |
| 4 子育てに関する情報発信・相談体制の充実 | | | 1,588 | | | |
| 39 | 子育て情報サイト更新事業 子育て世代に特化した情報発信・共有を図るため、子育てに有効な各種情報を収集し、サイトを構築する。 | 子ども保育課 | 1,000 | サイトへの投稿、閲覧が簡易にできるよう改修した。 | サイト利用者数 延2,852人 | |
| 40 | 地域における子育て相談体制強化事業 子育てに関するきめ細かな相談業務や支援を実施するため、子育て相談支援員の配置、子育て支援パートナーの養成を行う。 | 子育て支援課 | 588 | 子育て相談支援員を支援センター、児童館などに配置し子育て中の母親の相談に応じた。 パートナー養成講座を開催し、地域全体で安心して子育てする機運の醸成を図った。 | 相談対応件数:115件 事業参加者数:27人 | |
| 41 | スマホユーザーを含む、子育て支援情報の効果的な発信事業 子育て世代が持つ、子育てに対する不安や孤立感を解消するため、行政と市民で情報の双方向性を持てるスマートフォンのアプリケーションを開発し、子育て支援の一助とする。 | 企画政策課 | 【補正】 5,500 | H27.7:事業着手 H28.2.29:公式リリース | アプリ利用者数:400人(3/6現在) | |
| ③ 子育て世代がいきいき活動できる環境の整備 | | | | | | |
| 1 子育て世代の多様なライフスタイルづくりの支援 | | | | | | |
| 42 | 子育て中の母親ネットワーク事業 子育て中の母親のネットワークを構築するため、各種講座の開催や、フリーマーケット等のイベント開催を支援する。 | 子ども保育課 | 【補正】 600 | 7月、10月、3月に実施。講師や出展者の公募により参加者を拡大した。 | 事業参加者数 1,400人(7月・11月) 1,200人(3月見込) 計2,600人 | |
| 43 | 子育て世代の女性が就業しやすい、育児・介護中でも働きやすい環境整備 子育て世代の女性の、裾野らしい多様なライフスタイル、ワークスタイルを提案するイベント実施を検討。 | 企画政策課 | 【補正】 2,300 | みんなで子育てするまちシンポジウム開催 | 事業参加者数 | |

| 事業No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|--|--|--|--------|---|---|-----------------|
| 2 企業・事業所におけるワークライフバランスの実現に向けた取組みの支援 | | | | | | |
| 44 | 育児・介護中でも働きやすい環境整備 企業・事業所が行う先進的な子育て支援の事例紹介、表彰事業を行う。 | 子ども保育課 子育て支援課 企画政策課 (PT) 秘書課 (表彰制度) | - | ・3月開催のシンポジウムにて、事業所・団体・個人の取組発表を実施 ・シンポジウム等のイベント時において、県作成の「ふじのくに子育て応援モデル企業事例集」等啓発冊子を配布 | 市内1事業所・1団体 | |
| 3 子ども達の生きる力を育むまち すその | | | | | | |
| ① 豊かな心を育む教育の推進 | | | | | | |
| 1 豊かな心を育む教育の推進 | | | | | | |
| 45 | ほんものどふれあう学習事業 児童・生徒が文化・芸術を鑑賞したり、外部講師(トップアスリート・芸術家など)の講演を聴くなど、ほんものどふれ合う機会を設定する。なお、27年度は、小学校等でアーティストの生演奏を聴く場を設ける「公共ホール音楽活性化(おんかつ)事業」を同時に実施する。 | 学校教育課 生涯学習課 | 2,730 | ①富一小、深良小、西中の児童生徒を対象に、おんかつ事業を実施 ②児童生徒を対象に各校の計画による外部講師(トップアスリート・芸術家等)の招聘により、ほんものと触れ合う機会を実施 | ①おんかつ参加児童・生徒数:155人 ②事業参加者数:4,400人 | |
| 46 | 幼児を対象とした外国文化ふれあい事業 保育園・幼稚園に外国語指導助手(ALT)を派遣し、挨拶や簡単な会話、歌、ゲームを楽しむことを通じて、幼少期から外国語や異文化に慣れ親しむ機会をつくる。 | 子ども保育課 | 4,408 | ALTが各園を訪問し、授業や行事を通してふれあった。 | 事業参加者数 年間217回、延19,707人 | |
| 47 | 外国語教育・海外交流事業 小中学校の英語教育の充実に向け、質の高いALT業者をプロポーザル方式により選定する。 | 学校教育課 生涯学習課 | 16,000 | 児童・生徒に対して、質の高いALT業者を選定することにより、質の高い授業を行うことができた。 | 事業参加者数:2,500人 | |
| 48 | 特別支援員配置事業 児童生徒の学力向上の一環として、落ち着いた学習環境を確保するため特別支援員を配置する。(小学校10名) | 学校教育課 | 16,300 | 児童を対象に学力向上の一環として、特に気になる児童に対して、落ち着いた学習環境を支援した。 | 特別支援員数:10人 | |
| 49 | ICT機器を有効活用する学習の推進(教育用コンピュータ整備事業等) 児童生徒がコンピュータやインターネットを活用し、主体的な学習ができるよう推進するとともに、発達の段階に応じた情報活用能力の育成を図る。 | 教育総務課 | | 教育用パソコン機器の整備 電子黒板の整備 | 整備件数 小学校3校、中学校2校のパソコン室機器の更新 小学校5校、中学校1校の電子黒板整備 小学校7校、中学校2校の電子黒板機能付プロジェクターの整備 | |

| 事業 No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|--------------------|---|-------|---------|--|----------------------------|-----------------------|
| ② 学校の教育力の向上 | | | | | | |
| 1 学習環境の整備 | | | | | | |
| 50 | 「学びの森」運営事業 子どもに質の高い教育を提供していくために、「学びの森」を設置・運営する。「学びの森」では専門的な指導員を配置し、①教職員の研修体制の充実 ②学校と地域の連携協力の推進 ③児童生徒、保護者との教育相談を進める。 | 学校教育課 | 14,350 | 児童生徒に質の高い教育を提供していくために専門的な指導員を配置し、教職員の研修体制の充実等を図った。 | 相談件数、研修事業参加者数等：11件・150人 | |
| 51 | 学力向上ボランティア事業 自主的な学習を希望する児童生徒の指導のために、放課後や夏休みなどに学力向上ボランティアを配置し、きめ細やかな学習支援体制をつくる。 | 学校教育課 | 840 | 児童生徒を対象にきめ細かな学習支援体制をつくるため放課後や長期休業を利用し、学力向上ボランティアを配置し、実施した。 | 対象となった児童数：420人 | |
| 52 | 非常勤講師派遣事業 TTによる学習支援及び児童の生活支援を行う。 | 学校教育課 | 103,304 | 特に、学習支援や生活支援が必要な児童に対してきめ細やかな指導を行った。 | 対象となった児童数：400人 | |
| 53 | 学力向上支援事業 児童生徒の学力の向上を図るため、少人数指導等、きめ細やかな指導に当たる学力向上支援員(講師)を配置する。(小学校3名、中学校1名) | 学校教育課 | 9,420 | 児童生徒の学力向上を図るため、少人数指導等、きめ細やかな指導にあたった。 | 対象となった児童数：80人 | |

3 まちやひとを豊かにする産業づくり

12件

| 事業No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|--------------------------------|---|-------|----------------|--|--------------------------------------|-----------------|
| 1 企業・事業所が事業活動しやすいまち すその | | | | | | |
| ① 企業・事業所の事業活動環境の整備 | | | | | | |
| 1 企業立地の促進 | | | | | | |
| 54 | 企業立地促進事業 企業の誘致及び立地維持を図るため、事業用地取得費、建物機械設備取得費等に対し助成する。 | 渉外課 | 107,000 | 市内立地企業の工場増設及び機械取得経費に対して補助を実施。 | 補助件数: 1社1件 | |
| 2 中小企業等への支援 | | | | | | |
| 55 | 中小企業支援事業 経営革新、技術開発等に取り組む中小企業や起業を支援するため、利子補給や補助金により助成する。 | 商工観光課 | 3,250 | 中小企業支援のための利子補給等の支援を行った | 利子補給: 7件 経営革新補助: 2件 販路拡大補助: 2件 | |
| 56 | 商工団体への助成事業(裾野御殿場ビジネス交流会等) 中小企業の競争力の強化や新産業の創出を支援するため、ビジネスマッチングの場を創出する。 | 商工観光課 | | 御殿場市と裾野市の商工会で実施する事業に補助を行った | 事業参加者数: 197人/103社 | |
| 57 | プレミアム付き商品券販売事業 商工会においてプレミアム付き商品券を発行する。 | 商工観光課 | 【繰越】 29,800 | 20%のプレミアム付き商品券を発行し、完売した。 | 商品券を介した消費額: 1億5千万円の消費 | |
| 2 地域資源を活用した豊かな産業のまち すその | | | | | | |
| ① 地域資源を活かした稼ぐ力の創出 | | | | | | |
| 1 自然環境を強みにした産業振興 | | | | | | |
| 58 | 景観作物促進事業補助金 「裾野市パノラマロードを花でいっぱいにする会」の運営に対して補助を行う。 | 農林振興課 | 1,400 | 市民協働により、菜の花とコスモスの種まき、草刈を実施。フォトコンテストを開催。 | 景観作物の作付面積1.38ha | |
| 59 | 特産作物奨励助成事業 特産化と遊休農地の解消を推進するため、水田において市の特産物(大和芋、イチゴ、モロヘイヤ、酒米)の栽培に対して助成する。 | 農林振興課 | 660 | 水田において、大和芋、イチゴ、モロヘイヤ、酒米を生産・販売した農家に助成を実施。 | 対象作物の作付面積: 2.67ha | |

| 事業No. | 事業 (事業概要) | 担当課 | 事業費 | 当年度実施内容 | 実施内容を捕捉する数値データ (アウトプット) | アウトプット (KPI) 指標 |
|----------------------------------|--|-------------|----------------|---|--|----------------------|
| 60 | 地域農業担い手支援事業 将来の農業の担い手を確保するため、農業用機械・施設導入費用や販路拡大のための展示会出展費用等に対して助成する。 | 農林振興課 | 1,800 | 農業用設備を導入した認定農業者に対し、対象設備購入費用の助成を実施。 | 補助件数: 2件 | |
| 61 | 地域特産作物活性化支援事業 先行型(基礎交付) 薬用作物とそばを地域戦略作物に位置付け、同作物の作付に対する補助を行うことにより、耕作放棄地の解消、農産物の6次産業化・新たな特産物の創出を図る。 | 農林振興課 | 【繰越】 2,500 | 須山東富士農事組合が、須山地先の休耕地で行ったミシマサイコの生産活動への助成を実施。そばの生産・販売を行った農家に助成を実施。 | (H27実績)薬用作物の作付面積: 32a そばの作付農家への補助金1,110千円 | ■作付面積: 30a |
| 62 | パノラマロード観光振興推進事業 美しい富士山が見えるパノラマロード「遊花の里」において、市民協働により季節の花を利用した花畑を整備し、観光イベント等を開催する。 | 商工観光課・農林振興課 | 2,900 | 4月に菜の花&桜まつり、9月にコスモス祭りを開催し、併せてイベントを開催した。 | イベント参加者数: 4月2,500人、9月12,000人 | |
| 2 地理的優位性、地勢を活かした産業振興 | | | | | | |
| 63 | 裾野市発 屋上緑化推進事業 先行型(上乘せ交付) 地域産業の活性化に向けて、裾野の地勢を活かした緑化技術の産業化を支援する。 | 農林振興課、企画政策課 | 【補正】 50,500 | 実証用圃場の整備、生産者による事業協同組合の設立支援と生産活動への助成を実施。 | (H27実績)0.4ha | ■遊休地の再利用面積: 0.4ha |
| 3 働くひとのチャレンジを応援するまち すその | | | | | | |
| ① 誰もが新たなしごとにチャレンジできる環境の整備 | | | | | | |
| 1 新たなしごとへのチャレンジの支援 | | | | | | |
| 64 | 中小企業相談支援事業 先行型(基礎交付) 実績のある相談支援専門機関と連携して、常時中小企業や個人事業者からの経営や販路拡大の相談を受け付け、個人の起業推進や中小企業の事業拡大による地域活性化を図る。 | 商工観光課 | 【繰越】 1,400 | 中小企業向けセミナーを1回開催し、相談会を3回開催した。 | ■相談件数: 15件 | ■相談件数: 15件 |
| 65 | ビジネスコンテスト開催事業 先行型(基礎交付) 首都圏や地元の大学生、社会人等に裾野市の資源を視察してもらい、磨かれる前の資源に着目した新ビジネスを企画提案してもらうことで、創業マインドの向上やビジネスマッチングによる地域イノベーションを図る。 | 商工観光課 | 【繰越】 3,000 | ビジネスプランコンテストを開催し、8件の応募があり、3件の優秀賞を選考した。 | 提案事業の事業化見込み: 2件 | ■提案事業の事業化: 3件 |